

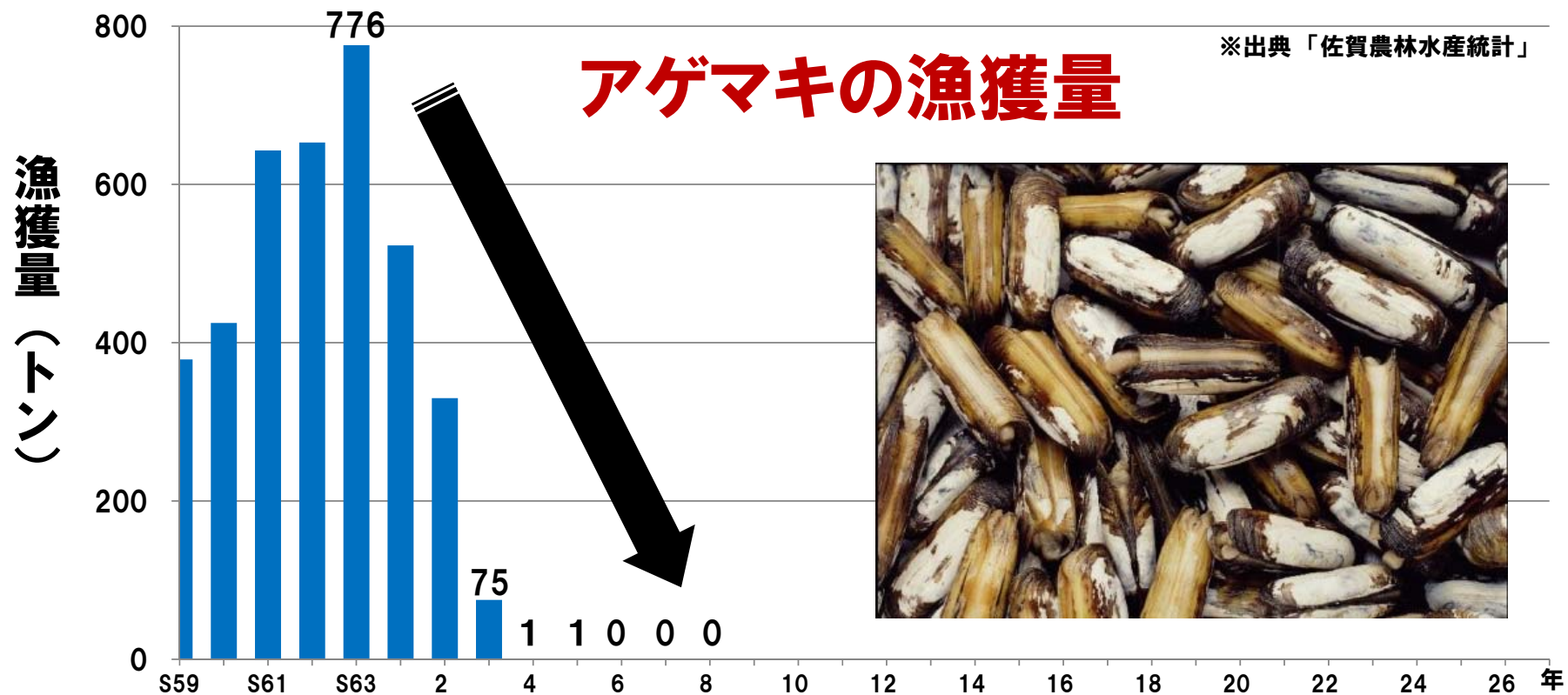
22年ぶりにアゲマキ漁が 復活します

— 回復の兆しを安定的かつ持続的な漁獲につなげます —

農林水産部 水産課



アゲマキは20年以上漁獲がない状況が続いていました



アゲマキは、昭和63年に大量へい死が確認されて以降、漁獲量が**急激に減少**し、平成4年以降、天然資源はほとんど確認されていない状況(平成9年以降休漁)

漁の再開を目指し、**放流技術の開発**に取り組みました



- ・人工的に稚貝を育て、自然界よりも生存率を高くする取組
- ・稚貝(8mm)数100万個レベルの生産技術を確立(平成21年～)



- ・稚貝の大量放流に着手(平成21年～)
- ・放流に適する場所の条件、生存を高める方法を検討・解明

試験的に出荷を実施(平成24年)



放流3年後に試験出荷
(約90kg、最高3,600円/kg)

天然漁場で再生産した稚貝を
大量に発見(平成27年～)



天然漁場で放流した貝から産まれた
と考えられる稚貝を多数発見

その後

今年

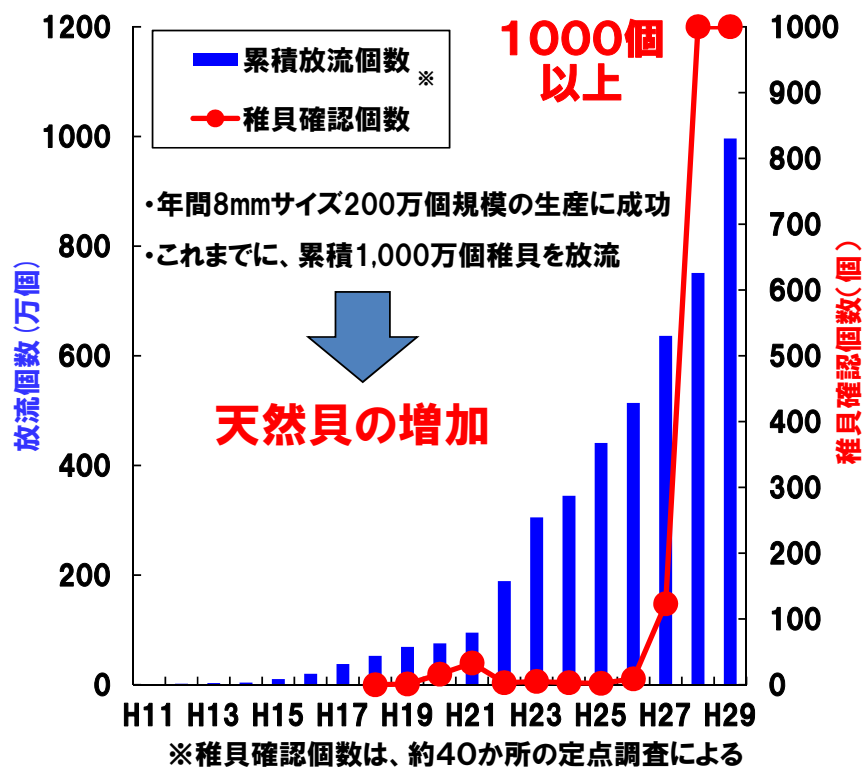
アゲマキの**回復の兆し**が高まる

その結果、漁の再開につながりました！

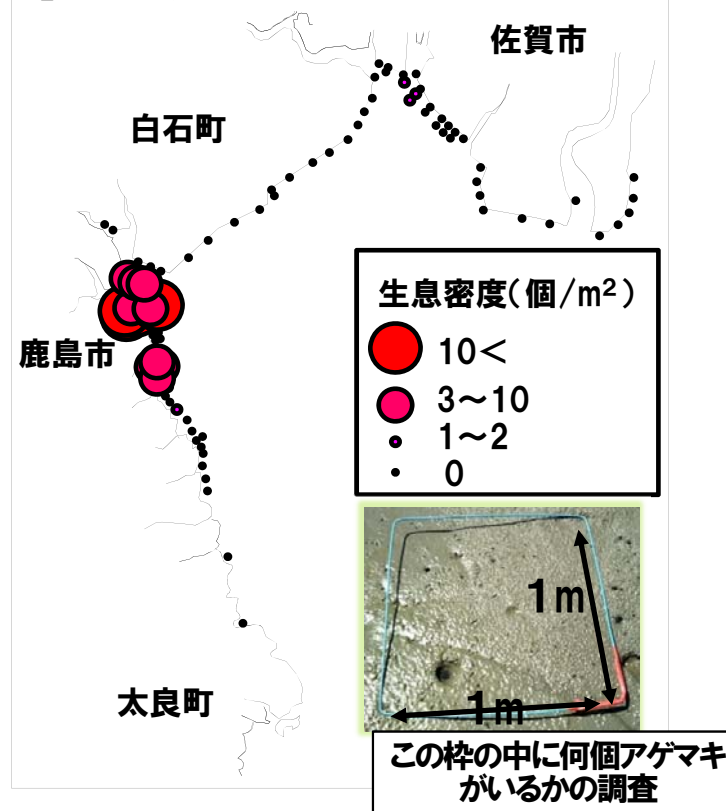
放流場所やその周辺で、多数の巣穴を確認！

特に鹿島市周辺で高密度の生息を確認！

【放流した稚貝の数と稚貝が確認された数の推移】



【生息状況調査の結果(H30年2~3月)】



～有明海の明るい兆しを大切に～

今後も、漁業者の方々が**資源回復を実感**
できるようしっかり取り組んでいきます。

お問い合わせ先

佐賀県 農林水産部 水産課

TEL:0952-25-7144 FAX:0952-25-7274

MAIL : suisan@pref.saga.lg.jp